

2017年12月1日～2024年3月31日の間に 当科において乳癌に対してCDK4/6阻害薬による治療を 受けられた方及びご家族の方へ

— 「当科における進行再発ホルモン受容体陽性乳癌に対するCDK4/6阻害薬の治療効果の検討」

へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合外科学 臨床助教 道田 希実子
研究分担者 川崎医科大学総合外科学 臨床助教 松本 築
川崎医科大学総合医療センター 外科医師 中村 有希
川崎医科大学総合外科学 講師 太田 裕介
川崎医科大学総合外科学 特任教授 土井原 博義
川崎医科大学総合外科学 特任教授 中島 一毅

1. 研究の概要

乳癌の治療において、CDK4/6阻害薬はホルモン受容体陽性かつHER2（ハーツ）陰性の「手術不能または再発乳癌」、「術後再発高リスク乳癌」に対して、ホルモン療法と併用して使用されています。CDK4/6阻害薬であるパルボシクリブ（イブランス®）、アベマシクリブ（ベージニオ®）は共に有用な薬です。

しかし実際の診療において、進行再発乳癌に対して、

- ・2剤のCDK4/6阻害薬がどの順番で使われているのか
- ・併用するホルモンの薬を変更したときに、どのくらい効果があるのか
- ・いつ、どのようなタイミングで点滴などの化学療法に切り替えられているのか
- ・どんな副作用が出現し、頻度はどれくらいか

といった点については、まだ十分に調べられていません。そこで本研究では、当科で治療を受けた患者さんの診療記録をもとに、CDK4/6阻害薬がどのように使われてきたか、またその治療の効果について詳しく調べることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017年12月1日～2024年3月31日の間に川崎医科大学総合医療センター外科で乳癌に対して、CDK4/6阻害薬による治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において乳癌で CDK4/6 阻害薬による治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに臨床・病理結果データを選び、有害事象の出現や治療効果について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、病歴、治療歴、生検病理情報、臨床病期、手術病理情報、術後再発予防治療、再発後の治療・効果、転帰、薬剤による有害事象、有害事象に対する治療・転帰 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2027年9月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 外科

氏名：道田 希実子

電話：086-225-21112111（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-224-6821

E-mail：m.kimiko@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し適正に管理されています。

この研究において、資金の受入及び使用はありません。